

ときどき家族プロジェクト京都「子育て×暮らしと住まい」

わたしがつくる・みんなとつくる

これからの時代の ハッピーな暮らしフォーラム

あったらいいな
こんな家・まち・暮らし！

in KYOTO

ひとりでがんばらない！
～家事も子育ても介護も～

2020.2.24 (月・祝)

13:00 ▶ 16:00 京都経済センター3F(四条・烏丸駅徒歩すぐ)

遠くのシンセキより近くのタニン？！

シェアハウスの次は
どこに住もう？



／ トークゲスト ／

土井 脩史さん

住宅計画研究者・京都橘大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科専任講師

宮本 諭さん

NPO法人コレクティブハウジング社
(CHC) 代表理事

首藤 義敬さん

多世代型介護付き住宅「はっぴーの家
ろっけん」 株式会社Happy代表取締役

空き家や路地の可能性とは？

参加無料
要申込 (定員60名)

託児&キッズワーク
ショップあり
(有料)

主 催：ときどき家族プロジェクト京都
共 催：京都府・NPO法人場とつながりラボhome's vi
NPO法人コレクティブハウジング社

令和元年度京都府こどもつながり応援隊事業補助金活用事業

わたしがつくる・みんなとつくる
これからの時代の
ハッピーなくらしフォーラム

参加
無料

<要申込>

こどもと大人が育つ環境に「選択肢」がもっとあれば。

「私、地元は京都じゃないけど子育てしていけるのかなあ…」
「こどもには多くの人と関わりあって育てほしいけど…」
「独身だし、家族を持つかはわからないけど、こどもと接するのは好き」
「働きながら生活ってめっちゃ忙しい!!!猫の手でも借りたい…」
「高齢の親と2人暮らし。他の人とも接点を持てたらなあ…」

世代を問わず「こういうのがあれば」という声を耳にすることがあります。
働き方に限らず「くらし方・生き方」にも変化の波が到来しているのではないのでしょうか？

関東を中心に多世代・多世帯で“支え合うくらし”を実現している『コレクティブハウス』、神戸市新長田で週に200名もの人が訪れるという多世代型介護つきシェアハウス『はっぴーの家ろっけん』という2つの事例に耳を傾けながら、わたしにとっての「しあわせなくらし」について考えてみませんか???



会場

京都経済センター3階 3-F

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

<交通アクセス>

京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ
阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結
京都市営バス「四条烏丸」徒歩すぐ
駐車場 40台 (有料) / 駐輪場 100台(有料)

プログラム

- 13:00 はじめに
- 13:10 子育てのための住まいを”改めて”考える
- 13:25 事例①コレクティブハウス
- 14:00 事例②はっぴーの家ろっけん
- 14:30 参加者のみなさんで感想共有
- 15:00 ゲストのみなさんへQ&A
- 16:00 終了

(※内容・時間等は変更になる場合がございます)

ゲスト



土井 脩史 (どい しゅうし) さん

住宅計画研究者。博士(工学)、一級建築士。京都橘大学現代ビジネス学部都市環境デザイン学科・専任講師。既存住宅のリノベーション手法の開発を主な研究テーマとしている。現在、京都の集合住宅団地を対象として、団地再生における子育て住環境の整備に関する研究に取り組んでいる。



宮本 諭 (みやもと さとし) さん

NPO法人コレクティブハウジング社(CHC)代表理事。30代半ばにCHCと出会い、新たなコレクティブハウス(CH)づくりの企画に夫婦で参加。居住13年目。現在は、妻と子どもの3人家族で、3歳から70代までの大人14人、子7人が住む多世代CHに暮らしている。



首藤 義敬 (しゅとう よしひろ) さん

暮らしの中にあるアタリマエをリノベーションする会社 株式会社Happy代表取締役。“遠くのシンセキより近くの他人”の価値を見直すことで、子育ても介護も若者も暮らしが豊かになるという仮説を検証中。

託児 & キッズアートワークショップ(有料)



グラフィックデザイナー・イラストレーターの ちだちよ さんと一緒に、お絵かきや工作をしながらハッピーな時間をすごしましょう! (目安: 3歳~小学校低学年)
託児は乳幼児のお子さんから可能です。※フォーラム参加者に限ります。

料金: 500円 (託児・ワークショップともに) 定員: 15名 申込締切: 2月20日(木)
申込方法: 「お子さんのお名前(ふりがな)・年齢+月齢」をご記入の上フォームまたはメール

お申込み
お問い合わせ

- ①メールから お名前・ご所属をご記入の上
info@homes-vi.com (熊倉・山本)まで
- ②右のQRコードから申し込みフォームへ

